

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター ☎541 大阪市中央平野町4-1-2 ☎大阪06(202)2221

南支店 ☎557 大阪市西成区玉出東2-9-41 ☎大阪06(662)0001

北支社 ☎532 大阪市淀川区十三本町3-6-35 ☎大阪06(301)1251

南都支社 ☎590 堺市住吉崎町2-2-19 ☎堺0722(38)1131

北都支社 ☎569 高槻市藤の里町39-6 ☎高槻0726(71)0361

阪神支社 ☎662 西宮市和上町4-11 ☎西宮0798(26)3101

東都支社 ☎578 東大阪市扇葉2-3-17 ☎河内0729(62)1131

京阪支社 ☎573 枚方市西田宮町16-17 ☎枚方0720(41)1251

神戸支社 ☎650 神戸市中央区相生町5-13-10 ☎神戸078(576)5231

京都支社 ☎604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358 ☎京都075(211)1151

奈良支社 ☎631 奈良市学園北2-4-1 ☎奈良0742(48)4811

和歌山支社 ☎640 和歌山市本町1-1-5 ☎和歌山0734(31)2481

姫路支社 ☎670 姫路市神屋町4-8 ☎姫路0792(22)4531

東播支社 ☎675 加古川市加古川町薬津29-1 ☎加古川0794(22)0421

豊岡支社 ☎668 豊岡市三坂町6-57 ☎豊岡0796(23)2221

湖南支社 ☎525 草津市道分町字荒越680-1 ☎草津0775(62)5311

彦根支社 ☎522 彦根市大東町12-11 ☎彦根0749(22)3131

(長浜営業所) ☎526 長浜市南呉服町3-4 ☎長浜0749(62)7171

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときはガスの元せんを閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社・サービスショップにご連絡ください。

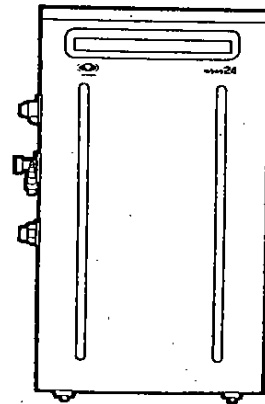
734T0168PJ

〈セントラル給湯機能付き〉

# ガス風呂釜

ゆうゆう24 31-080型

型式名 RFS-2400-A



## 取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

 大阪ガス

## ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのセントラル給湯機能付きガス風呂釜をお求めいただきまして、  
まことにありがとうございます。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を  
大切に保管してください。

## もくじ

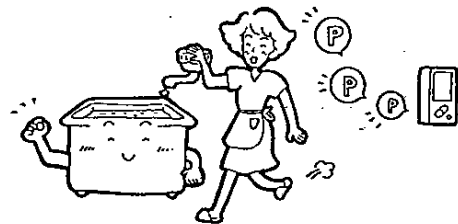
●特長・機能の紹介	1
●必ずお守りください	2
●各部の名まえと扱いかた	6
●初めてお使いいただくときに	9
●使用方法・時刻設定	10
・給湯・シャワー	11
・追いだき	13
・湯量のお知らせプザ	15
●凍結予防のしかた	17
●点検・お手入れ	19
●故障かな?と思ったら	20
●寸法図	23
●仕様	24
●保管とアフターサービス	25

## 特長・機能の紹介

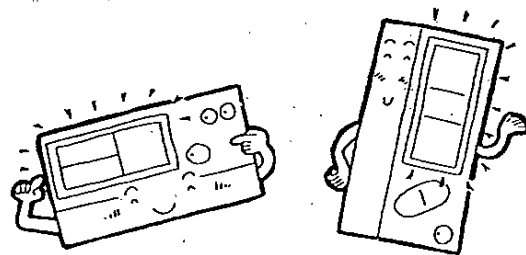
●追いだき運転はタイマー機能付でわかしすぎがありません。



●浴そうへのお湯の落とし込みに  
あふれ防止のお知らせプザ付です。



●コントローラの液晶モニターで、  
給湯温度や時間が一目でわかります。

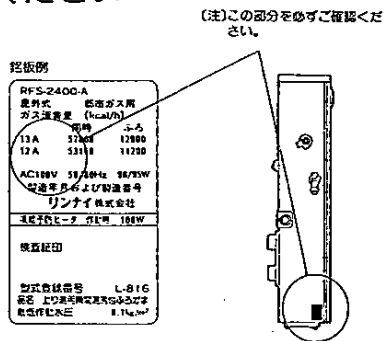


# 必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

## ●ガスの種類を確かめてください

- 換気機に貼付してある銘板に表示されているガス（ガスグループ）以外のガスでは使わないでください。
- 銘板に表示してある電圧（電圧・周波数）以外の電圧では使わないでください。



(例：都市ガス13A・12Aの適合)

## ●用途についてのご注意

- 給湯及びシャワー及び風呂のお湯はり・追いだし以外の用途には使用しないでください。
- 本体はソーラー対応できません。

## ●使用場所について

- 排気口から排気ガスが出ますので、近くに危険物、植木、ペット、その他加熱されて困るものは置かないでください。

# 必ずお守りください

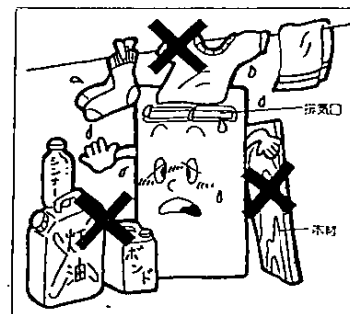
## ●使用上のご注意

### ガス漏れ予防

- 使用後は運転スイッチを「切」にしてください。
- 使用中にガスにおいや、不快なおい気しないかとときどき確かめてください。

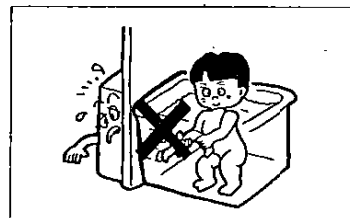
### 火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、洗たく物、濡発泡など）を絶対においたり近づけたりしないでください。
- 排気口の上にタオル、ふきんなどをのせないでください。不完全燃焼や異常過熱の原因になります。



### 過熱防止

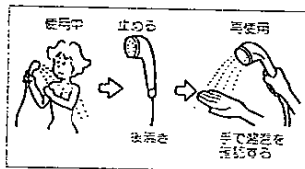
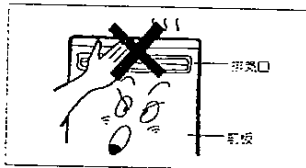
- ふろがまと浴そうを接続している上下連絡水管をタオルなどでふさがないようにください。



必ずお守りください

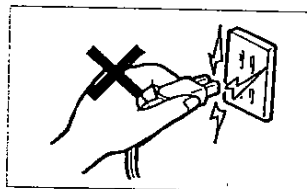
### やけどの注意

- ご使用中および使用後はしばらくは、器具本体の排気口とその周辺は熱くなりますので、手をふれたりしないでください。特に、小さなお子様がいらっしゃる家庭はご注意ください。
- シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは器具の後洗きによって一時的に湯がでることがありますので、ご注意ください。



### ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元せんを閉じ、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社にご連絡ください。(絶対に使用しないでください)
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたら、スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど、しないでください。



### 凍結についてのご注意

- 冬期には器具内の水が凍って器具が破損することがあります。凍結のおそれのある期間は17ページの「凍結予防のしかた」に示してご注意をしてください。

### 停電時のご注意

- 停電すると自動的にガス止め、運転が停止します。ただし、水は止まりませんので、給湯せんを開けてください。
- 使用を一旦中止し、通電再開後、再操作をおこなってください。
- 停電が終わり電気が通じたら、コントローラの給湯設定温度、湯だきタイマー、湯量調節、現在時刻を再設定してください。

必ずお守りください

### 凍結したとき

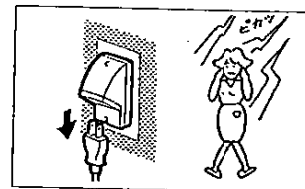
- ①器具や配管が破損しますと高額な修理費がかかります。(有料)
- ②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- ③再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、10ページ「使用方法」の項以下の操作を行なってください。

### 異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災の場合、すぐに使用をやめて運転スイッチを切り、ガス元せん・給水元せんを閉めてください。(20ページ「故障かな?と思ったら」に示してご注意を行なってください。)

### 雷雨時のご注意

- 近くで雷の音が聞こえてきたときは、雷雨時の電子部品の破損を防止するため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。(電源コードが埋込まれている場合は、元のブレーカで切ってください)
- 雷が遠ざかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



### 日常の点検・手入れ

- 日常の点検、手入れをしてください。(詳しくは19ページをごらんください。)
- 故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
- このとき、ご自分で修理なさらずお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。

### 入浴剤や洗剤についてのご注意

- 硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので、入浴時のご注意文を十分ご参照ください。

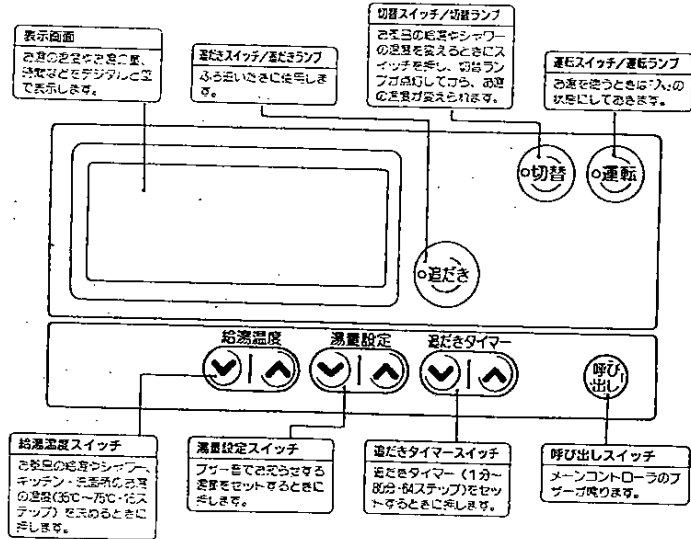
### 飲用にお使いのとき

- 器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

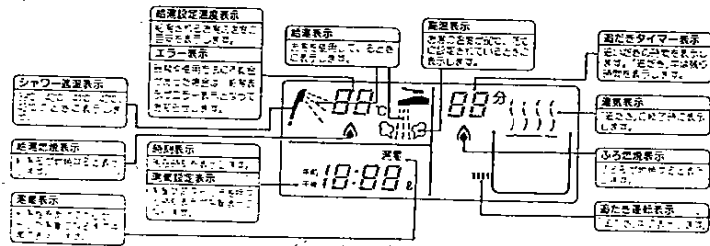


各部の名まえと扱いかた

風呂コントローラ

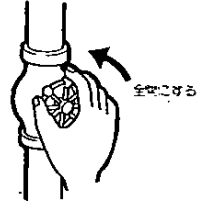


〈表示画面〉

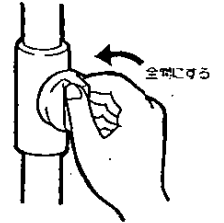


初めてお使いいただくときに

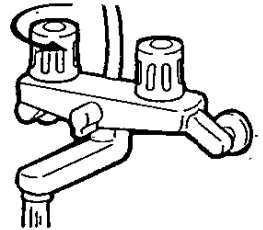
1 給水元せんを全開にしてください。



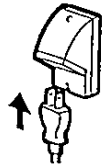
2 ガス元せんを全開にしてください。



3 給湯せんを開けて、水の出ることを確認してから開めてください。



4 電源プラグをコンセントに差し込んでください。



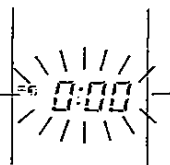
# 使用方法

## 時刻設定

- 1 メーンコントローラのフタを開け  
時計設定スイッチを押します。



- スイッチを押すと、画面の時刻表示が一瞬の点滅から、午前 0:00 の点滅になります。



- 2 時・分スイッチで  
現在の時刻に合わせます。



- 時・分スイッチを押しながら、現在時刻を画面に表示します。
- ※押し続けると、連続的に数字が変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。

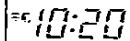
**注意!** 午前と午後を間違えないように!!



- 3 時計設定スイッチを  
もう一度押します。

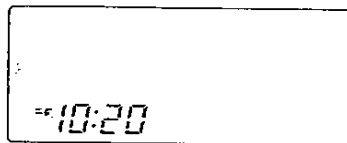


- 点滅が止まります。



- 4 時計合わせができました。

- メーンコントローラで時計合わせが完了すると同時に、風呂コントローラに時刻が表示されます。



## 使用方法

## 給湯・シャワー

- 1 「運転」ランプの点灯を  
確かめます。



- 「運転」ランプが点灯していないときは、「運転」スイッチを押します。

- 2 お好みの給湯温度にセットします。

初めてお使いのときや電源プラグをコンセントから抜いてまた差し込んだ後、また停電後の給湯温度は 42℃ になります。

### 風呂コントローラで温度調節するとき




- 「切替」ランプの点灯を確かめます。
- 「切替」ランプが点灯していないときは、「切替」スイッチを押します。
- 給湯温度が変更されます。




### 給湯温度



- ▼ スイッチを押し続けると 35℃ まで連続で表示が変わります。
- ▲ スイッチを押し続けると 60℃ まで連続で表示が変わりますが、75℃ を設定するときはもう一度押してください。

- シャワー湯温範囲 (39℃~43℃) のときは、表示画面に「」がでます。(風呂コントローラ)

### 注意!

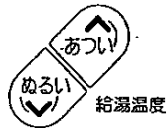
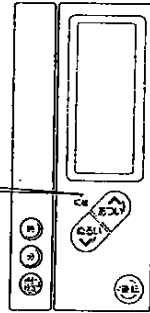
60℃、75℃ のときは湯気のマーク  が点滅します。

シャワー使用中に湯温を変えるとやけど等、非常に危険です。じゆうぶんにご注意ください。



メインコントローラで温度調節するとき

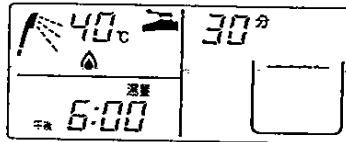
- 切替ランプの点灯を確認めます。
- 切替ランプが点灯していないときは、風呂コントローラの「切替」スイッチを押します。



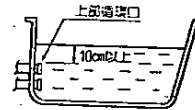
- 給湯温度スイッチで風呂コントローラと同じ操作をします。
- 食器洗い適温範囲 (35℃~38℃) のときは、表示画面に「」がでます。(メインコントローラ)

3 給湯せんを開ければお湯が出ます。

- 使い始めは給湯配管内の水が流れ出すまでしばらくお湯が出ません。
- ご使用後すぐに、お使いになるときは湯温が不安定になることがあります。シャワーで使用する時は手で湯温を確かめてからご使用ください。
- 給湯温度表示の数字は実際の給湯温度と多少異なりますので湯温設定の目安としてください。

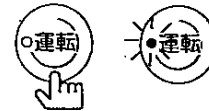


浴そうにお湯、または水が入っていることを確かめます。  
(上部溢流口より10cm以上うえ)



- 浴そうへ水を入れてから流す場合は、給湯で落とし込むより長く時間がかかります。
- 浴そうの排水せんは水もれのないように、しっかり差し込んでください。

1 「運転」ランプの点灯を確認めます。



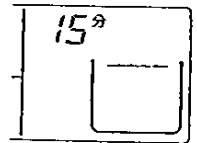
- 「運転」ランプが点灯していないときは、「運転」スイッチを押します。

2 風呂コントローラのふたを開け、「追いだしタイマー」スイッチで、追いだし時間をセットします。

追いだしタイマー



- はじめてお使いのときや電源プラグをコンセントから抜いてまた差し込んだ後、また停電後の「追いだしタイマー」は30分になります。
- 「追いだしタイマー」は、1~80分まで設定できます。  
1~60分...1分刻み  
60~80分...5分刻み
- 押し続けると連続で5分ずつ表示が変わります。

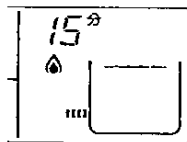




3 「追だき」スイッチを押します。



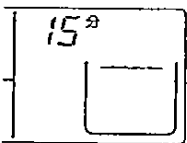
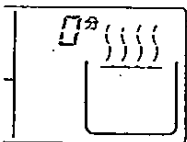
- 「追だき」ランプが点灯し、追いだきが始まります。
- 「追だきタイマー」の残り時間を表示しています。



※途中でとめたいときには、もう一度「追だき」スイッチを押します。追いだきがとまり、ランプが消えます。(この場合、終了時のブザーはなりません。)

4 追いだきが終わると、ランプは消えます。

- 湯気表示が点滅し、ブザー音で終了をお知らせします。
- 「追だきタイマー」表示の「0」分からセットしたタイマーに表示が戻ります。



「追だき」中にタイマーを変更した場合、変更したタイマーの追いだきをそのまま続けますが、追いだき終了後は変更前の表示に戻ります。



給湯せんから浴そうへお湯をはるときにあふれ防止のお知らせとしてご利用ください。

1 「運転」ランプの点灯を確認めます。

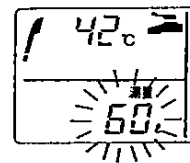


- 「運転」ランプが点灯していないときは、「運転」スイッチを押します。

2 風呂コントロールのふたを開け、「湯量調節」スイッチで、お知らせ湯量をセットします。

- 初めてお使いのときは、「——」の表示になっています。(この設定ではお知らせブザーはなりません。)
- 「湯量調節」は、60~400ℓまで設定ができます。  
60~300ℓ...20ℓ刻み  
300~400ℓ...50ℓ刻み
- 浴そうにお湯をはるときは浴そうの大きさに合わせて湯量を調節してください。
- 約10秒で時計表示に戻り、セットが完了です。

湯量調節

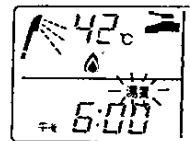


3 給湯せんを開けます。

- 「湯量」表示が点滅します。

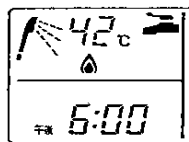
※浴そうの排水せんがしっかりと差し込まれているか確認してください。

※「湯量調節」がセットされていると台所やシャワーでお湯を使っても「湯量」表示が点滅します。



- 4 セットした湯量までのお湯がでると、ブザー音でお知らせします。

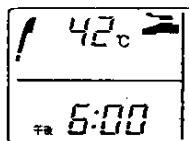
• “湯量”表示が消えます。



- 5 給湯せんを閉めます。

**ご注意!**

浴そうへお湯をはっているとき、他の給湯せんからお湯を使うとブザーがなってもセットした湯量までお湯が入っていないことがあります。



## 凍結予防のしかた

冬期、寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結のため機器や配管が破損することがあります。破損した場合、高額な修理費用がかかる場合があります（有料）。設置場所の温度が氷点下になり凍結のおそれのある時は、次の方法で予防処置を行ってください。

### ●凍結予防装置による方法

- この器具は外気温がさがってくると自動的に凍結予防装置（ヒーター）が器具内を保温します。
  - この装置は運転スイッチの「入」「切」に関係なく作動しますが、電源プラグを抜くと作動なくなりますので、ご注意ください。
- \* 配管部分の凍結まで予防できませんので、必ず保温材を巻きつけてください。

### ●通水による方法

- この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。

〔給湯機〕

- ① 運転スイッチを「切」にし、ガスの元せんをしめる。（電源プラグは抜かないでください。）
  - ② 給湯せんをあげ1分間に約200cc以上（牛乳ビン1本ぐらい）（特に寒い日は多目に）を流してください。
- \* 流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。

## ●器具内の水を抜く方法

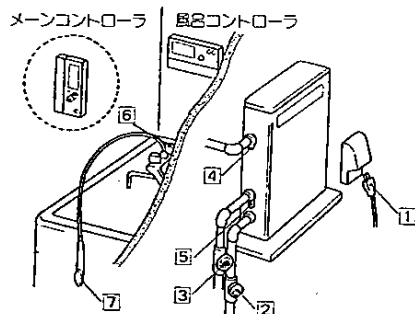
入居前や長期不在の場合は必ず行なってください。また外気温が極端に低くなる場合もこの方法をおとりください。

次の順序でおこなってください。

- ①器具の電源プラグ①を抜き、ガス元せん②を閉める。
- ②給水元せん③をしっかりと閉める。
- ③水抜きせん④を開ける。
- ④給湯せん⑤または、シャワーせん（シャワーを取り付けている場合）を全部開ける。
- ⑤シャワーヘッド⑦を床面まで下げる。

- 給湯せん⑤およびシャワーヘッド⑦と、水抜きせん④の間から水が抜けるのを確認してください。

- 次にお使いになるまで、このままにしておいてください。（水抜きせん④を開けずそのままにしておいてください。）



## ●水抜き後の使用方法

- ①水抜きせん④・⑤を元通りしっかりと閉める。
- ②ガス元せんを止めた状態および器具の電源プラグを抜いた状態で給水元せん③を開け、給湯せん⑤およびシャワーヘッド⑦から水が出ることを確かめたのち、給湯せん⑤およびシャワーせんを閉める。
- ③電源プラグ①をコンセントに差し込みます。
- ④ガス元せん②を全開にします。
- ⑤P 10～14 の使用方法にしたがって、給湯・シャワー、使いだきを行ってください。

※現場施工の状況により、「凍結予防装置による方法」や「器具内の水を抜く方法」では、配管部分の凍結まで予防できない場合がありますので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

# 点検・お手入れ

## ●点検・手入れの際のご注意

- 器具を安全、快適に、ご使用いただくために日常の点検・手入れを必ず行なってください。
- 点検・手入れの際には電源スイッチを「切」にして器具が冷えてから行ってください。
- 器具及びコントローラはフタを開けないでください。（故障の原因になりますので絶対に分解しないでください。）

## ●点検

- 器具の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものを置いていませんか。
- 排気口や給気口をふさいでいませんか。

## ●お手入れ

- 外装の掃除  
やわらかい布に中性洗剤を付けて、軽く拭いてください。  
（タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください。）
- コントローラの掃除  
コントローラの表面が汚れた時は、十分水を絞った布で拭いてください（かわいい布で拭いた場合、液晶部が乱れることがあります。故障ではありません。放置しておきますともとの状態に戻ります。）
- ★コントローラの掃除にはベンジンや油系系の洗剤を使わないでください。変形する場合があります。

## ●点検・手入れ後の確認

- 点検・手入れの後は電源スイッチを「入」にして給湯せんを開いて器具が正常に作動しているか確認してください。
- 万一、異常な燃焼、異常音、異臭を感じられたときはお買い求めの販売店、または大阪ガス社にご相談ください。

## ●定期点検のおすすめ

- 器具のご使用に支障がなくても、2～3年に1回ぐらいVリーナーや各部の作動が「正常」かどうか定期点検をするのが、安全で長期間使用いただくための「ひけつ」です。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス社へご相談ください。



## 故障かな?と思ったら

### エラー表示

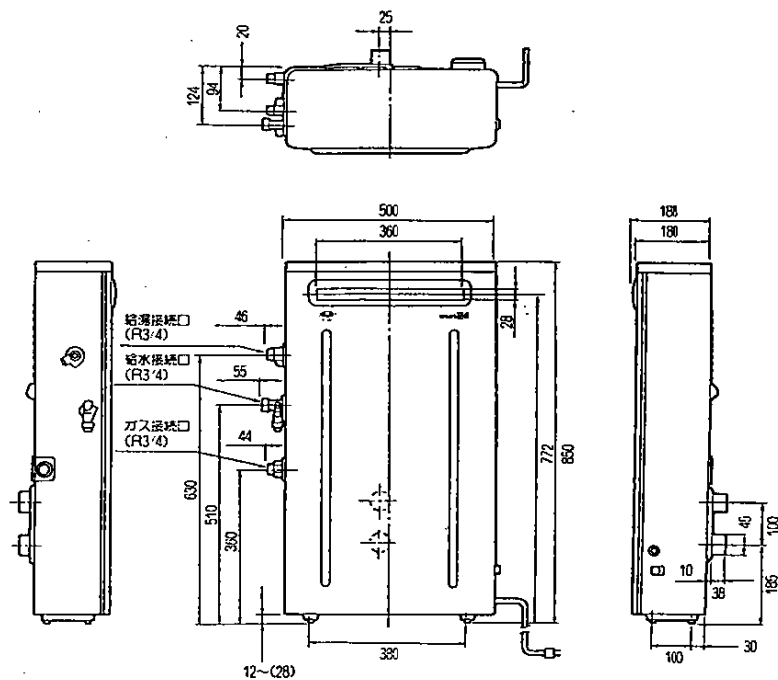
器具および使用方法に不具合があった場合は自動的に運転を停止し、表示画面にエラー表示が点滅します。

エラー表示	使用状態	内容	処置方法
U1	給湯運転	点火ミス	ガス元せん確認後、運転スイッチを一旦切って再操作
U2	ふろ運転	点火ミス	ガス元せん確認後、運転スイッチを一旦切って再操作
E1	給湯運転	失火	運転スイッチを一旦切って再操作
E2	ふろ運転	失火	運転スイッチを一旦切って再操作
E3	給湯運転	給湯燃焼用ファンの回転を検知しない	運転スイッチを一旦切って再操作
E4	ふろ運転	風呂燃焼用ファンの回転を検知しない	運転スイッチを一旦切って再操作
E8	給湯 ふろ}運転	通信エラー	ケーブルの接続を確認し、運転スイッチを一旦切って再操作
E9	給湯 ふろ}運転	初期チェック不良、電子ユニット、コントローラの故障	運転スイッチを一旦切って再操作
H1	給湯運転	給水温検知装置の異常	運転スイッチを一旦切って再操作
H2	給湯運転	出湯温検知装置の異常	運転スイッチを一旦切って再操作
L1	電源プラグを差し込んだ時	コントローラと本体の型式違い	電源プラグを抜き、(分電盤の専用スイッチを「切」にし)正しいコントローラと取替

●再操作しても状況が変わらない場合は、ガス元せん、給水元せんを閉め、電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス本社へご連絡ください。

## 寸法図

単位: mm



# 仕様

品名	ガス風呂釜					
品番	31-080型					
形式の呼び	RFS-2400-A					
白水協登録番号	L-816					
外形寸法	高さ850mm×幅500mm×奥行180mm					
重量	35kg					
点火方式	遠隔放電・ダイレクト着火方式					
総湯量	最低作動水圧	0.1kg/cm <sup>2</sup>				
	最低作動水量	2.7ℓ/分				
	出湯温度	35℃～75℃(16ステップ)				
湯だき方式	自然循環式					
湯だき消火方式	電子タイマー式(1～80分)					
接続	給水	20A(R3/4)				
	給湯	20A(R3/4)				
	ガス	20A(R3/4)				
	電気	AC100V(2m)				
循環口	外径φ45mm・ピッチ100mm					
消費電力	98/95w(50/60Hz)					
排気温度	260℃以下					
安全装置	立消え安全装置・過熱防止装置・残火安全装置・過圧防止安全装置・蒸気予防装置・風呂用湯だき安全装置・湯沸器保護装置・漏電安全装置・湯電漏防止装置					
付属部品	導絡ゴム管2ヶ・給湯/冷ド4ヶ・メーンコントローラ・風呂コントローラ ・本体取付金具セット(転倒防止用)・袋ナット付接続金具セット					
別売部品	ケーブル線2芯(38-132)・排気カバー(36-102) ・厚壁用誘電パイプ中(4310570400)・厚壁用誘電パイプ大(4310570401)					
使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量(最大消費量)(kcal/h)			出湯能力(能力大)(ℓ/分)		
		給湯機	風呂側	上昇温度		
都市ガス	6C	56,000	44,000	12,000	23.6	14.7
	13A	57,000	45,000	12,000	24	15
LPガス		4.75kg/h	3.75kg/h	1.0kg/h	24	15

- 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。
- ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。 ●出湯能力は計算値です。

# 保管とアフターサービス

## ●長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
  - (1)ガスの元せんを閉じる。
  - (2)給水元せんを閉じる。
  - (3)電源プラグを抜く。
  - (4)器具の水抜きを行なう。(水抜き方法は18ページを参照してください)

## ●アフターサービスについて

### サービスを依頼されるときは

- ①まず「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または大阪ガス支社にご連絡ください。
- ②アフターサービスを申しつけのときは、次のことをお知らせください。
  1. ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印等)
  2. 品名……31-080型(右のようなラベルを器具の前面右下部に貼付けてあります。)
  3. 現象……でできるだけ詳しく
  4. 訪問ご希望日

(N) 31-080 (U)  
大阪ガス株式会社  
731 080 03

### 転居される場合

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり都市ガスにはガスグループの区分があります。ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

### 保証について

- このガス風呂釜には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、ガス風呂釜の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であつても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

### 補修用性能部品の最低保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。その後の修理は、補修用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。